

事業報告

令和3年度 学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業
企業・高校等を活用したチャレンジ教室開発事業「宇佐市とのプログラム協同実施」

日時：令和3年9月15日（水）

会場：宇佐市院内文化交流ホール 院内支所山村開発センター多目的ホール

参加者：17名（3市）

<研修趣旨>

地域学校協働活動を推進し、地域における子どもの学びの充実を図るため、民間企業・団体等を中心とする多様な経験や技能をもつ外部人材を活用した、特色・魅力のある教育プログラムの開発・企画・提示や情報の提供を行う。

外部団体と連携した、子ども向けの各種体験プログラムを市町村へ紹介・普及させることで、「協育」ネットワークの取組における広域的・効果的な視点で人材活用を図る意識を高め、小学生チャレンジ教室の充実を図る。

協力団体：匠の技倶楽部（宇佐市内の住宅関連業者有志団体）

メンバーそれぞれがもつ専門技術“匠の技”を生かし、本業である民家の修繕等はもちろん、住民のために自分たちにできることや、何か地域の役に立つことをしたいという思いから、宇佐市内の住宅関連業者がネットワークを構築して発足した有志団体。

ボランティア活動に積極的に参加したり、小学校で体験教室を開催したりと、地

【開会行事】



【主催者あいさつ】
大分県立図書館 副館長兼学校・地域支援課長 森山 貴仁



【講師紹介】
匠の技倶楽部メンバーによる自己紹介

<研修内容>

テーマ：地元の団体・企業等を活用した、地域に根ざした持続可能なプログラム開発
及び他教室への普及と活用・応用

【第1部】体験プログラム見学

院内中部放課後子ども教室の子どもたちが、たたみと木製のコースター作りに挑戦しました。講師である匠の技倶楽部の皆さんの指導のもと、畳や木についての歴史や文化を学んだり、素材の感触や匂いを感じたりしながら、オリジナルのコースターを完成させました。工夫しながら作業をする子どもたちの真剣なまなざしや、できあがったコースターを手にした際の笑顔が印象的でした。



【第1部】
たたみコースター作り体験



【第1部】
木製コースター作り体験



【第1部】
匠の技倶楽部講師



【第2部】
協力団体との協議・意見交換

【第2部】協力団体との協議・意見交換

最初に県立図書館から本事業の主旨やこれまでの展開について説明を行い、共通理解及び確認をした上で、協議・意見交換に入りました。

次に匠の技倶楽部から、実演した体験プログラムについてはもちろん、倶楽部の発足や活動の理念等に込められている、地域や子どもたちに対する思いを語ってもらいました。また、他に提供可能なメンバーそれぞれの専門技術を生かした体験プログラムの紹介がありました。

宇佐市社会教育課からは、今回のプログラム実施に至るまで経緯や、市内の放課後子ども教室の現状や取組み、今後の方向性について説明がありました。

参加者から、実際に講師依頼を行う方法や条件面等に関する具体的な質問があり、人材の新規発掘やルートの開拓についてや、持続可能なプログラム開発の在り方について考える良い機会となりました。

<参加者感想>

- 子どもたちの楽しそうに生き生きと取り組んでいる様子が印象的だった。
- 専門性をもつ人たちによる子どもへのプログラムの提供は、人を知る、仕事を知る、地域を知るために、とても有効だと感じた。
- 子どもたちに学んで欲しいことや地域に対する思いなどが、プログラムの実施にはとても大切であり、その意義がよくわかった。